

越前さんの家計簿

平成25年度一般会計決算の歳入と歳出を1,000分の1にし、「越前さん」の1年間の家計に置き換えてみました。

収入

①給料	230万円
・町税（町民税や固定資産税など、皆さんから納められた税金）	
②財産・臨時収入	74万円
・使用料（町の施設や設備の利用料）	
・負担金（町の事業で利便を受ける人が負担するお金）	
・諸収入（貸付金の元利収入や団体・個人からの雑収入）	
・財産収入（町の土地などを売却したお金）	
・寄附金（団体・個人から寄附されるお金）	
③貯金の取崩し	6万円
・繰入金（町が積み立てているお金（基金）の取崩しや特別会計・事業会計から受け入れるお金）	
④前年度の残金	109万円
・繰越金（前年度決算からの繰越金）	
小計(A) 自主財源	419万円
⑤支援金	893万円
・地方交付税（国から交付されるお金）	
・国・県からの補助金（法律などによる交付金や事業実施に対する補助金）	
⑥借入れ	53万円
・町債（銀行などからの借金）	
小計(B) 依存財源	946万円
収入合計(A)+(B)	1,365万円

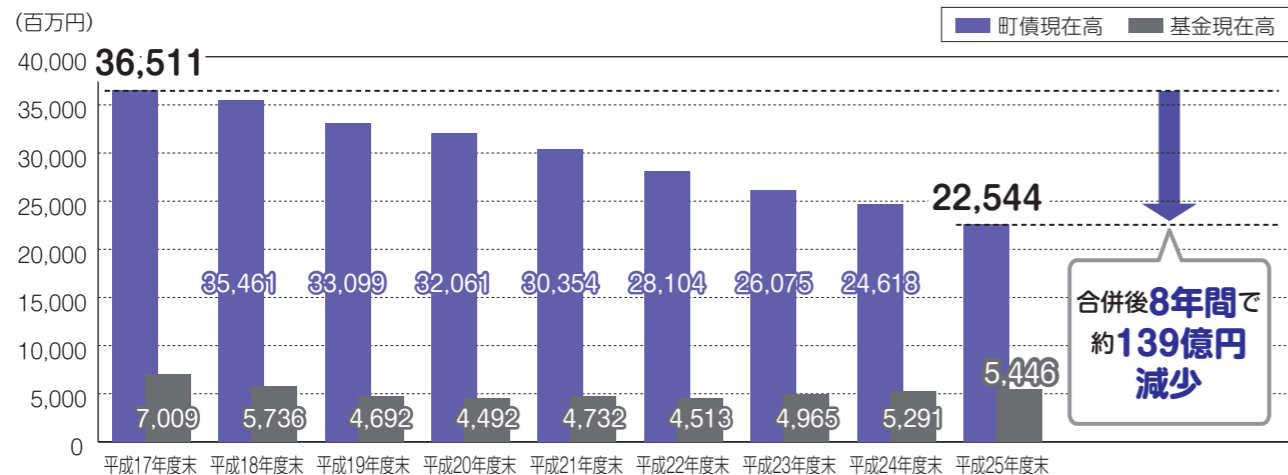
支出

①生活費	507万円
・人件費（委員報酬や職員給与）	
・物件費（町の施設の管理費や事業の委託料）	
・補助費等（団体などに対する負担金や補助金）	
②医療費	172万円
・扶助費（子どもや高齢者、障がい者の福祉などのお金）	
③借金の返済金	181万円
・公債費（町債の元金・利息の支払いのお金）	
④家の新・増築や車の購入費	180万円
・普通建設事業費（町の施設や道路などの新設・改良や設備の購入のお金）	
・災害復旧費（被災した農業施設や道路などの復旧のお金）	
⑤修繕費	13万円
・維持補修費（町の施設の修繕のお金）	
⑥子どもへの仕送り	173万円
・繰出金（特別会計や事業会計に支出するお金）	
⑦貯金	47万円
・積立金（基金に積み立てるお金）	
⑧知人への貸付金	4万円
・貸付金（団体などに貸し付けるお金）	
支出合計	1,277万円

町民1人当たりの現在高
町債 約97万円
基金 約23万円

※町民1人当たりの現在高は、平成25年度末の町債（借金）と基金（貯金）の現在高を同年度末の住民基本台帳人口23,208人で割った金額です。

平成25年度末の町債（借金）は22億5,446万円、基金（貯金）は5億4,466万円、合計で約28億万円です。これは、平成17年度末の約36億5,111万円から、合併後8年間で約139億円減少しました。



平成25年度

わたしたちのまちの決算報告

決算とは、町税や国県補助金などの収入が「どのくらい入り」、行政運営に必要な支出として「どのように活かされたか」を一般会計、特別会計、事業会計ごとにまとめたものです。

会 計	歳入決算額		歳出決算額		歳入歳出 差引残額 (A)-(B)		
	(A)	対前年度比 (%)	(B)	対前年度比 (%)			
一 般 会 計	13,651,271	▲ 1.1	12,770,259	0.5	881,012		
特 別 会 計	国民健康保険事業	2,433,440	4.7	2,308,334	3.7	125,106	
	介護保険事業	2,287,681	1.4	2,262,011	0.9	25,670	
	後期高齢者医療事業	233,861	1.4	231,893	0.8	1,968	
	簡易水道事業	450,966	13.7	447,317	14.3	3,649	
	公共下水道事業	988,237	5.0	980,791	5.0	7,446	
	集落排水事業	360,503	▲ 0.6	358,710	▲ 0.2	1,793	
	温泉事業	17,561	▲ 45.0	15,889	▲ 46.7	1,672	
	農林漁業体験実習館事業	27,622	4.3	27,622	4.3	0	
	宅地造成事業	92,530	▲ 3.5	92,530	▲ 3.5	0	
	土地区画整理事業	16,543	皆増	2,803	皆増	13,740	
事業会計	上水道事業	収益的収支	282,585	0.5	282,047	0.4	538
		資本的収支	21,904	380.0	147,280	23.8	▲ 125,376
	国民健康保険病院事業	収益的収支	286,503	▲ 5.2	278,946	▲ 9.3	7,557
	資本的収支	105,037	732.0	234,830	210.9	▲ 129,793	
合 計	21,256,244	0.9	20,441,262	2.1	814,982		

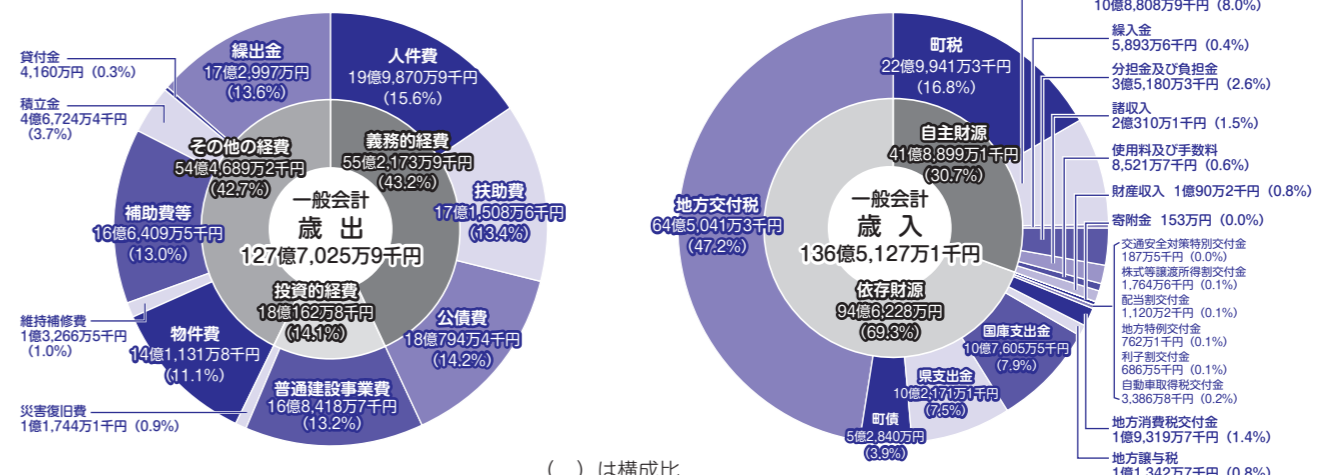
平成25年度の一般会計、特別会計、事業会計を合わせた歳入総額は21億2,562万4,498円で、前年度より1億8,782万9,911円増加、歳出総額は20億4,441万2,622円で、前年度より1億2,336万7,025円増加、歳入総額から歳出総額を差し引いた収支は、8億1,498万2,870円増加となりました。

一般会計では、歳入が1億3,651万2,711円、歳出が1億2,770万2,599円、歳入が歳出を上回り、881万982円の黒字となりました。

【歳入】 町税が町民税の減により、1億4,300万5,000円の減少（0.6%減）となりました。国庫支出金が地域の元気臨時交付金、社会資本整備総合交付金、学校施設環境改善交付金などを活用した事業の実施により、3億6,316万4,000円の増加（50.9%増）となりました。

町債が前年度で織田コミュニティセンター1建設事業の完了や臨時財政対策債の発行減などにより、5億760万円の減少（49.0%減）となりました。

【歳出】 普通建設事業費が町道の整備や小中学校の空調設備整備・トイレ改修などを実施したものの、前年度で織田コミュニティセンター1建設事業が完了したことなどにより、1億2,679万1,000円の減少（7.0%減）となりました。繰出金が宅地造成事業特別会計の町債（借金）の繰上償還への繰出などにより、1億1,131万円の増加（6.9%増）となりました。



快適で安全に住めるまちづくり

道路網の整備

●安全な交通の確保
社会資本整備総合交付金を活用し、福井線などの歩道整備、北乙坂線などの路面舗装、宮前線・馬場高橋線などの消雪設備整備を実施
2億2,761万2千円



消雪設備が整備された町道（西田中地区）

防災・救急体制の充実

●避難所の充実
拠点避難施設となる朝日・常磐・糸生小学校に防災備蓄倉庫を整備
4,255万2千円



避難物資を備えた防災備蓄倉庫（朝日小学校）

防犯対策の強化

●LED防犯灯の設置支援
区が管理する既存防犯灯のLED防犯灯への取替費を補助
4,599万1千円



LED防犯灯（気比庄地区）

下水道の整備

●下水道施設の統合
宮崎東部（八田・陶の谷）処理区と上戸処理区を公共下水道（朝日浄化センターで汚水処理）につなぐ管路を布設
3,143万4千円



公共下水道につなぐ管路の布設

元気で活力みなぎるまちづくり

農業の振興

●農業施設の整備
上川去、気比庄、田中で暗渠排水や用排水路改修を実施
5,653万8千円



水量を適正に管理するための暗渠排水

水産業の振興

●水産環境の整備
漁業に関する普及啓発活動を行う町産地協議会の活動を支援
厨・米ノ地区の漁業用作業保管施設の整備費を補助
4,309万3千円



整備した作業路による森林施業

林業の振興

●森林の適正な管理
森林施業のための現況調査費や造林、除間伐、作業路などの整備費を補助
982万9千円



漁港の衛生環境の向上にも繋がる漁業用作業保管施設

循環型社会の形成

●クリーンエネルギーの推進
住宅の太陽光発電設備設置費を補助
1,066万4千円



住宅屋根に設置された太陽光発電設備

健康で安心して暮らせるまちづくり

保健事業の推進

●予防接種の奨励
乳幼児の感染症や高齢者のインフルエンザなどを予防するため、予防接種を実施
先天性風しん症候群の発生を予防するため、風しん予防接種費用を助成
3,674万円



乳幼児の予防接種（織田病院）

子育て・少子化対策の充実

●子育ての支援
助成対象者を中学校3年生までの全員に拡充し、子ども医療費を助成
4,685万8千円

●不妊治療対策の推進
少子化対策として、不妊治療費を補助
264万4千円

個性豊かで誇りのもてるまちづくり

観光産業の活性化

●観光資源のPR
県内外への出向宣伝を実施
観光PR・ポスターを作成し、高速道路サービスエリアに配置
1,255万6千円



県外での出向宣伝

人が輝き交流で満ちあふれるまちづくり

町民と協働できるまちづくりの推進

●集落振興の支援
地域の課題を掘り起し、活性化を図る担い手として活動する地域おこし協力隊を雇用
高齢化が進む集落の維持・活性化を支援する集落支援員を配置
4,800万1千円



住民が参加し空き家利用について話し合うワークショップ

地域コミュニティの育成

●地域コミュニティ活動拠点の整備
旧武生公共職業安定所朝日出張所を朝日コミュニティセンターとして整備
2,449万6千円



朝日コミュニティセンター

学校教育環境の充実

●学校空調設備・トイレの整備
町内すべての小学校の4年生から6年生までの教室に空調設備を整備
朝日・常磐・糸生・城崎・萩野小学校と宮崎・織田中学校の校舎トイレを洋式化と乾式化に改修
2億2,156万1千円



洋式化された校舎トイレ（城崎小学校）

●地区集会施設の整備支援
自治総合センターのコミュニティ助成金を活用し、金谷区集会施設の建設費を補助
2,260万円



地区住民の交流拠点となる金谷すみよし会館

町民に開かれた健全行財政のまちづくり

行政サービスの向上・組織のスリム化

●公共施設の合理化
旧織田コミュニティセンターを取り壊し、跡地を整備
5,462万円

●電子自治体の構築
電子入札システムを整備し、電子入札を導入
911万5千円



わたしたちのまちの財政状況

健全化判断比率と資金不足比率は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、各年度決算に基づき算定されます。

この比率には、早期健全化基準や経営健全化基準があります。比率のいずれかが基準を超えた場合は、財政健全化計画や経営健全化計画を策定し、財政の早期健全化や公営企業の経営健全化を図らなければなりません。

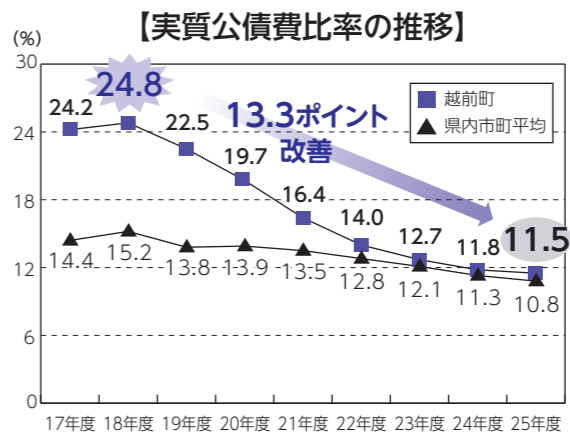
平成25年度決算ではすべての比率が基準を下回り、財政は「健全」となっています。

比率名	平成25年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	黒字	13.56%	20.0%
実質赤字比率	黒字	18.56%	30.0%
連結実質赤字比率	黒字	18.56%	30.0%
実質公債費比率	11.5%	25.0%	35.0%
将来負担比率	34.0%	350.0%	
資金不足比率	資金不足なし	20.0%	

平成25年度決算の健全化判断比率と資金不足比率は「健全」

負担金のうち、それら団体の借金の返済に充てられたとみられる額も含まれます。

この比率が高いほど、町財政に対する借金の返済などの負担が大きくなります。



前年度と比べ0.3ポイント改善しました。

県内市町の実質公債費比率の平均値は10.8%ですので、町の実質公債費比率はこれとほぼ同水準となっています。

将来負担比率

将来負担比率とは何ですか？

将来負担比率とは、将来負担しなくてはならない実質的な負担額が標準財政規模に占める割合です。

将来負担しなくてはならない実質的な負担額は、次のものなどの合計です。

- ・町債（借金）の残高
- ・上下水道・病院の公営企業会計やごみ処理・消防の一部事務組合の借金の返済に充てる一般会計の負担見込額
- ・職員の退職手当支給予定額

この比率が高いほど、現在背負っている借金などが将来、町財政を圧迫する可能性が高いことになります。

越前町の将来負担比率はどうなっていますか？

将来負担比率は、平成25年度決算では34.0%となり、平成19年度と比べ117.4ポイント、前年度と比べ22.6ポイント改善しました。

県内市町の将来負担比率の平均値は50.0%ですので、町の将来負担比率は県内市町平均値より良好となりました。

わたしたちのまちの予算

平成26年度
9月補正予算

補正額は、一般会計・特別会計・事業会計を合わせ**1億3千万円**

9月補正予算の主要項目は、次のとおりです。

- ・朝日地区統合保育所・朝日児童センターの整備促進による「子ども・子育て支援の充実」
- ・越前ものづくりの里プロジェクト協議会の活動や、越前古窯拠点施設の整備との連携による「伝統産業（越前焼）の振興」

予算規模			
会計	補正前予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	125億6,844万2千円	9,156万8千円	126億6,001万円
特別会計	67億6,188万7千円	3,610万6千円	67億9,799万3千円
事業会計	12億7,822万3千円	590万円	12億8,412万3千円
合計	206億855万2千円	1億3,357万4千円	207億4,212万6千円

※特別会計の補正額の内訳…介護保険事業特別会計557万9千円、簡易水道事業特別会計484万9千円
公共下水道事業特別会計2,314万円、集落排水事業特別会計253万8千円

※事業会計の補正額の内訳…下水道事業会計590万円

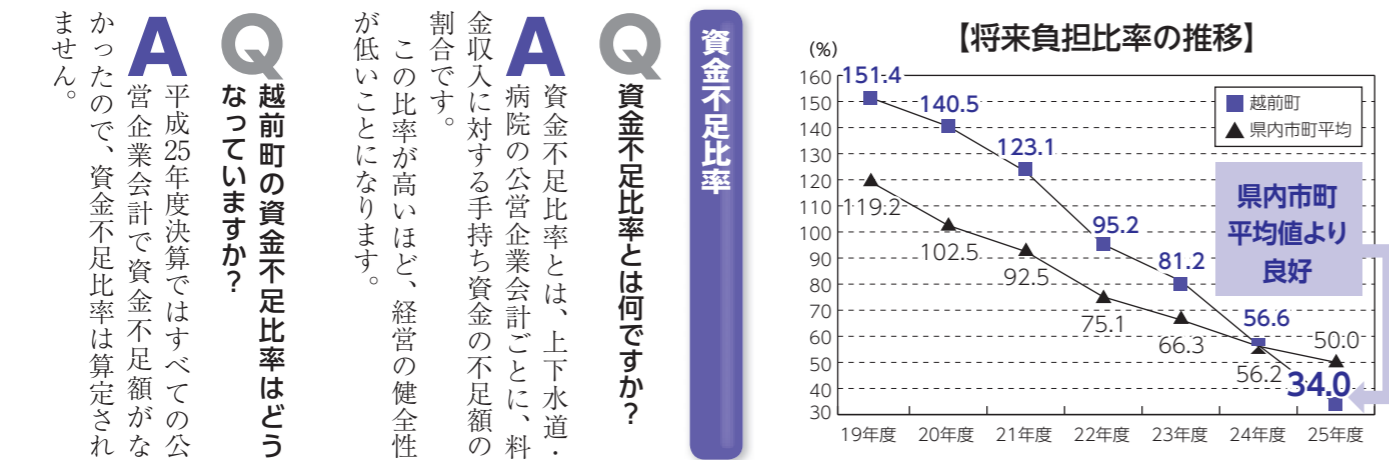
主な事業

- 子ども・子育て支援の充実**
 朝日児童センターの整備
 旧朝日中学校の跡地に朝日中央保育所と朝日北保育所の統合保育所を建設するための設計を行います。
- 子ども・子育て支援の充実**
 朝日児童センターの整備
 旧朝日中学校の跡地に朝日中央保育所と朝日北保育所の統合保育所を建設するための設計を行います。
- 子ども・子育て支援の充実**
 朝日児童センターの整備
 旧朝日中学校の跡地に朝日中央保育所と朝日北保育所の統合保育所を建設するための設計を行います。
- 観光の活性化**
 観光客の誘客促進
 道の駅「越前」のオープンに合わせて、町の観光施設や特産物などの魅力を紹介するPR番組を制作し放送します。
- 定住の促進**
 多世帯同居の推進
 多世帯同居につながる持家住宅の買取変更、バリアフリー改修、設備増設などのリフォーム工事費に対し、2分の1の補助金(限度額40万円)を交付します。



統合する朝日中央保育所(上)と朝日北保育所(下)

- 伝統産業の振興**
 越前焼の活性化
 国の伝統的工芸品に指定されている越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前筆筒の各産地組合と県、鯖江市、越前市、越前町が連携し、伝統産業の振興を図る「越前ものづくりの里プロジェクト協議会」が発足しました。この協議会では、伝統工芸職人塾の開設による職人の育成や見学可能な工房の案内板の設置などによる販路拡大に取り組めます。
- 越前陶芸公園内の陶房を解体し、県が行う古民家を活用した越前古窯拠点施設の整備に向けて、用地を整備します。**
- 災害の予防**
 急傾斜地崩壊対策の推進
 落石などによる災害を防止するため、越前地区(梅浦地係)急傾斜地崩壊危険区域において、急傾斜地崩壊対策工事を行います。
- 防災・救急体制の充実**
 防災備蓄倉庫の整備
 拠点避難施設である朝日中学校に、消防水防倉庫を兼ね備えた防災備蓄倉庫を整備します。
- 保健事業の促進**
 予防接種の推進
 10月1日から高齢者の肺炎球菌と幼児の水痘(水ぼうそう)の定期接種を行います。対象者、接種回数、接種費用、指定医療機関などは、25ページまたは町ホームページをご覧ください。



- 資金不足比率**
 資金不足比率とは何ですか？
 資金不足比率とは、上下水道・病院の公営企業会計ごとに、料金収入に対する手持ち資金の不足額の割合です。この比率が高いほど、経営の健全性が低いことになります。
- 越前町の資金不足比率はどうなっていますか？**
 平成25年度決算ではすべての公営企業会計で資金不足額がなかったため、資金不足比率は算定されません。